

幼 兒 教 育

第二十一卷
第五一號

大正十年五月十五日發行

兩親教育の話

児童保護講演梗概 東京市長男爵

後 藤 新 平

一場の講演をするのは結構な事だと思つたのですが、元來私は凡骨俗髓で、高等の教育も經たものでないので、私のやうなものが皆様の前で講演等は出來ない筈です。然し、湯原君は所謂學問にとらへられず、世界は大學、困苦は良師友、といふ所から、この凡骨俗髓を此處に紹介して下さつたのは、破格な御招待だと思ひまして、貴重な時間をつぶしに參りました。今夜の聴衆の方々は皆高等教育にふれてゐて、唄は下手でも聞き手が上手といふ所でせうから、どうかお聞きになつて下さい。あなた方は御承知でせうが、私は東京第一の脱線、脱線を基にして、事を考へる人があつたら、それこそ唄は下手でも聞き手が上手といふのです。紙屑でも、知識あるものは、紙屑の中からガラスを拾つてダイアモンドとします。どうかぼろの屑の中からダイアモンドを拾つ

て下さい。さて兩親學、即ちエルテルン・シューレといふのは、獨逸に起つたのであります。これを聞いて、近頃は子供に不良少年があるやうに、親に不良老年があるから、教育するんだと思はれてはなりません。これは、良い親であつても時代の變遷にともなはなく、それ故兩親を絶えず教育をしてゆかなくてはならぬのであります。それではどう云ふ風にして兩親を教育するかと云ふに、今晚のやうに大勢よつた所で話するのがエルテルン・シューレです。近頃學校では、小學校でも親を呼んで話す事がありますが、小學校以前の教育に於ては更に必要であります。幼ない子供を育てるといふ事は實にむづかしい事なのであります。子供はあらゆる事が充分に出來ない時から、親の保護のもとにあつて、哲學者以上

物が色々の壓迫にあつて、形がまげられるやうに、子供も色々の状態から形がまがつて來るものであります。小児の醫師は子供を診察する上に非常に苦勞するのは、子供は口が利けないからです。熱位はわかりませんが、他の病状はきく事が出來ませんから、まるで動物の醫師と同じやうに推察や判断で行ふやうなものです。子供がこのやうにはつきりと云ふ事が出來ないので、こちらから察して色々の事をしむけるのですから、家庭教育は非常に大切なものであります。家庭には、階級上色々違つたところがあつて、解り易い例で云へば労働者資本家等と随分違つた家庭があつて、この種々の家庭に於て行はれる家庭教育、無言教育は實に偉大な力を有してゐるものであります。無言教育をよくなすと云ふ事は家運のひらける要素でありますし、又第二の國家の要素たる青年をつくと云ふ事になります。

こゝにアメリカでいかに子供が大切にされて居るか、又たそのやうに子供を大事がらせる両親の教育を重大視してゐるかを一寸申しませう。ドイツの今度の慘狀を見たのが基となつて、アメリカでは兒童保護の宣傳に非常に盡力して居ります。御婦人方に

至つては必要以上に道樂に世話をしてゐるやうなものです。いゝ指輪をはめやうと思つても、先づそれをやめて兒童保護に用ひるのが、一種の流行のやうになり、又見え坊の一種にもなつてゐます。日清戰爭の時に、銀のかんざしをはづしたりした事がありました、そのやうな状態が今米國に於て行はれてゐるのです。このやうに熱心さも誠意がなくては何にもなりません、誠意をこめてしたならば、非常に偉大な結果になります。アメリカの婦人を見ますと、誠意之に力をむけてゐるやうです。六十以上にも達して、未婚である人さへ、子供を持つた人以上に子供を理解し、教育者の研究を聞いて、兒童保護の問題に盡力して居ります。かう云ふと御婦人方にへつらつてゐるやうに聞えるかも知れませんが、婦人が一寸手をあげれば米國の空氣が動くといふ風です。このやうに學校も一般婦人も熱心ですから、之が両親に反對してエルテルン・シユールンが自然と出來てゐます。日本の家庭もいゝ所がありますが、未だこの點にかけては充分ではないやうです。日本の子供は樂園だといひますが、發達しないのは、自然のめぐみのためかも知れませんが、とにかく我國の

兒童をもう少しよい方に導かねばなりません。幼稚園と家庭との關係は密接でなくてはならないもので、幼稚園の先生が折角教へ込んだものを、家庭に於てはすやうではなりません。道徳、知識、習慣等、すべて兒童に教へる事は、家庭に於ける無限の權威、無言の權威が必要なのであります。これこそ社會の骨髓となるべきものであります。

今日は大層いゝ天氣ですから澤山の方がお集り下さいましたが、私の話からとくをさる人と、損をさる人どがありませう、それは人々の頭次第によるのであります。紙屑の中からダイアモンドを拾ふ方は、どうぞダイアモンドをひろつて下さい。政談演説は、千代萩や忠臣藏の芝居を見るやうなもので、うそぞ知りつゝも泣かされたり、喜ばされたりして歸つて行くのですが、學術講演はほんとうか、うそかをはずきりと頭で考へて見るものですから、居眠りが出たり、あくびが出たりして、どうも芝居を見るやうな具合にはゆかないものです。温泉でもいきなり這入つたからそれで治ると云ふのではなく、その後を注意してゐればこそ健康をますのであります。私は元來讀書が餘り好きではありませんで、人に讀んで

もらふと、四十八時間もかゝつてよんだものが、一時間で聞かれる、さうすると四十八時間いきのびた事になります。何か私の塵埃のやうな話の中に見出せるものがあつたら、聞きばなしにせず、それを子供の両親に反射してやつて、両親教育を成功させてやつて下さい。(未校閱||文責在記者)

先達の宣傳の日、ピラをくばつてゐると、何處かの奥様らしい人すぐ紙入から十錢紙幣を出した。

「いゝえ、お金はいりません、お子様のためにどうかよくお讀み下されば結構です。」

かういばれた婦人は氣がついて文句をよみはじめたが、「あゝ、救世軍ぢやなかつたのです、大變失禮しました、皆さんがかうしてなさるのは大變です、私も少し近所へくばるお手傳をしませう。」と。

△ 淺草雷門のところではピラを配ばつてゐると、職人風の男二三、

「また、新しい活動がかゝつたな。ピラをくばつてゐるぞ。」かういひながら、通りが、りにピラをうけとつて、

A「なんだれえ、こりや、歌がかいてあるぞ。」

B「子供の活動(寫眞)かな——」

C「活動ぢやなさそうだが、義太夫かな——」

三人は立ちどまつて讀んでゐました。活動寫眞の廣告と思ひこんでうけとつたピラは、わかるのに少し手間とつた様でした。